

# Rinnai

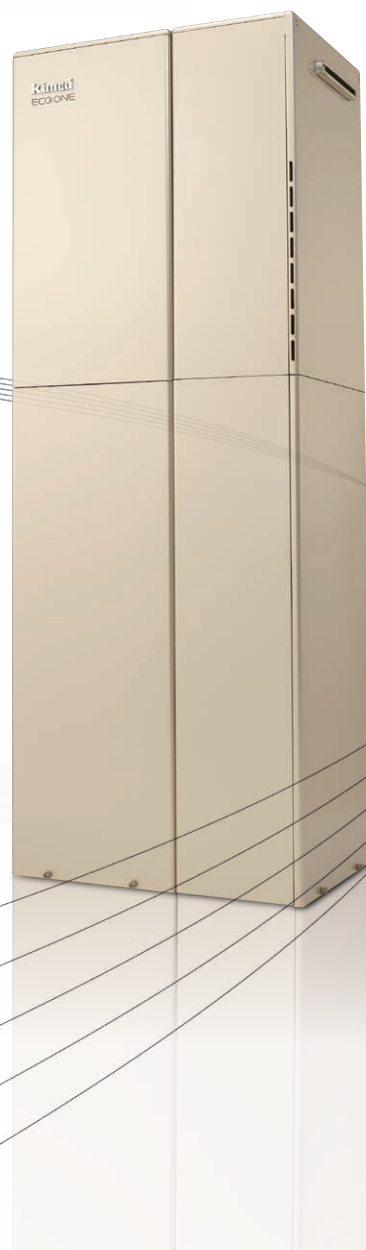
暮らしにいい感じ、はじまる。

ハイブリッド給湯・暖房システム

## ECO ONE

かんたん施工  
マニュアル

〈シングルハイブリッド(E)〉  
〈リモコン301VC対応〉



A10283182

H170-0815(00)

# 1 基礎工事・搬入

達成度 10%

完成



設置パターン



タンク搬入



3ページへ

# 2 設置工事

達成度 30%

完成



タンク設置

熱源機設置・連結



ヒートポンプ設置



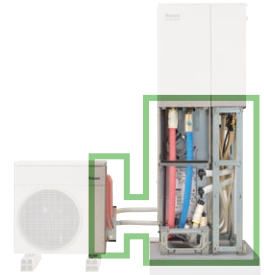
4,5ページへ

# 3 配管工事

達成度

70%

完成



水・ゆ・ガス配管



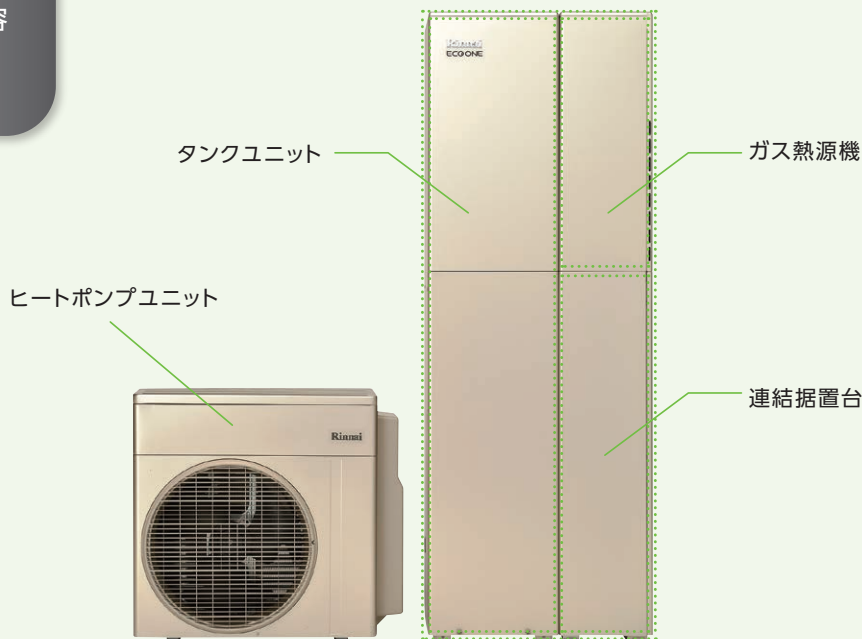
おいだき・暖房・ドレン排水配管



6-8ページへ

## システム内容

## シングルハイブリッド給湯・暖房システム ECO ONE熱源機・タンク一体タイプ



## 別売オプション 一覧



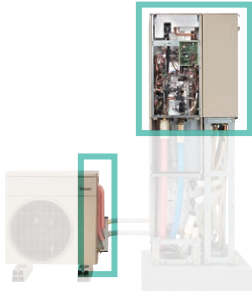
ヒーター入り連結配管セット(一体型)  
RHO-EOS2H-A(28-3280)  
¥15,000(税抜価格)



レベル調整スペーサー(1mm・10枚入)  
RHO-SPU1-10(28-2437)  
¥900(税抜価格)

# 4 電源・配線 工事

達成度 **90%** 完成



結線工事



9 ページへ

# 5 試運転調整

達成度 **95%** 完成



試運転確認



10,11 ページへ

# 6 カバー 取り付け

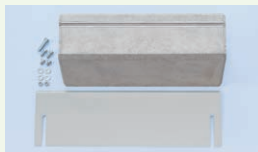
達成度 **100%** 完成



12 ページへ



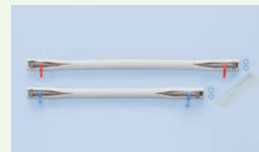
簡易ベース  
(熱源機・タンク体タイプ用)  
RHB-E750B-1P (28-2275)  
¥13,500 (税抜価格)  
※設置時は2セット必要です。



簡易ベース  
(熱源機・タンク体 狭小設置タイプ用)  
RHB-E600A-1P (28-2283)  
¥16,000 (税抜価格)  
※設置時は2セット必要です。



簡易ベース  
(熱源機・タンク体 狭小設置タイプ用)  
RHB-E600A-W (28-2291)  
¥13,000 (税抜価格)



連結配管セット〈給湯用〉  
RHO-EOS2-A (28-2445)  
¥10,000 (税抜価格)



狭小設置連結配管セット〈給湯用〉  
RHO-EOS2-B (28-2453)  
¥11,000 (税抜価格)



HP配管セット (3m)  
RHO-HPS3-A (28-2488)  
¥28,000 (税抜価格)



HP配管セット (5m)  
RHO-HPS5-A (28-2496)  
¥31,000 (税抜価格)



ヒーター入りHP配管セット3m  
RHO-HPS3H-A1 (28-3301)  
¥39,000 (税抜価格)



コンパクト熱動弁ヘッダー  
ROP-CCVH-3SB (25-1883)  
¥9,500 (税抜価格)



コンパクト熱動弁ヘッダー  
ROP-CCVH-4SB (25-8268)  
¥14,000 (税抜価格)



レベル調整スペーサー (3mm・5枚入)  
RHO-SPU3-5 (28-3573)  
¥1,000 (税抜価格)



レベル調整スペーサー (6mm・5枚入)  
RHO-SPU6-5 (28-3581)  
¥1,500 (税抜価格)



プラ設置台  
RHB-PR450 (28-0159)  
¥3,000 (税抜価格)

# 1 基礎工事・搬入

1 基礎搬入

2 設置

3 配管

4 配線

5 試運転

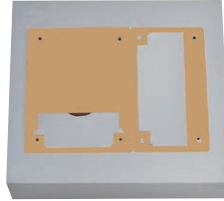
6 カバー

## 1 設置パターン

### 現場打ち基礎(ベタ基礎の場合)

熱源機・タンク一体タイプ  
右仕様の現場打ち基礎例

基礎寸法表		幅(W)					(mm)
		700	750	800	850	900	
奥行き(D)	600	NG	NG	NG	290	250	厚み(t)
	650	250	220	190	170	160	
	700	160	150	150	150	150	
	750	150	150	150	150	150	
	800	150	150	150	150	150	
	850	150	150	150	150	150	
	900	150	150	150	150	150	



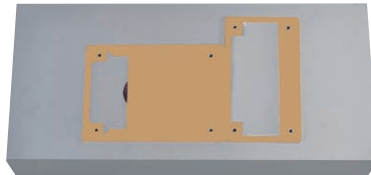
タンクユニット梱包に印刷されている型紙を使用して、アンカーボルトの位置を決め、スミ出しをします。



アンカーボルト6本を打設します。

熱源機・タンク一体狭小設置タイプ  
右仕様の現場打ち基礎例

基礎寸法表		幅(W)								(mm)
		800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	
奥行き(D)	550	NG	NG	NG	270	220	190	170	150	厚み(t)
	600	NG	230	190	160	150	150	150	150	
	650	180	150	150	150	150	150	150	150	
	700	150	150	150	150	150	150	150	150	
	750	150	150	150	150	150	150	150	150	
	800	150	150	150	150	150	150	150	150	



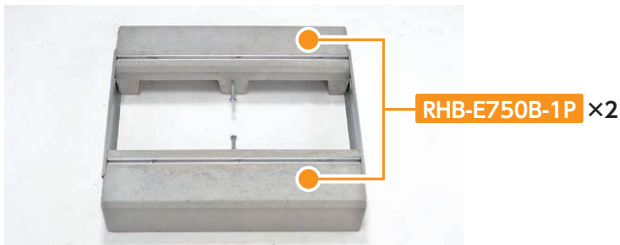
タンクユニット梱包に印刷されている型紙を使用して、アンカーボルトの位置を決め、スミ出しをします。



アンカーボルト8本を打設します。

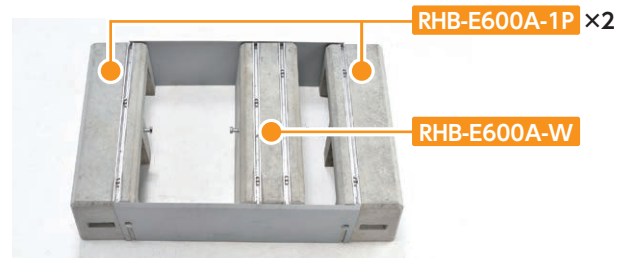
### 簡易ベース(オプション品使用の場合)

熱源機・タンク一体タイプ



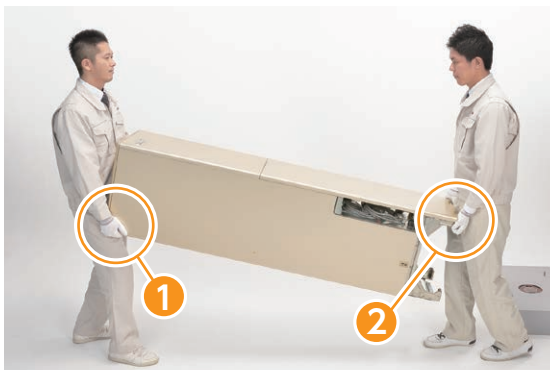
RHB-E750B-1P×2個を使用します。

熱源機・タンク一体狭小設置タイプ



RHB-E600A-1P×2個、RHB-E600A-W×1個を使用します。

## 2 タンクユニット搬入



前板側を上にし、タンクユニット上の角部(写真①)と下の脚部(写真②)に手をかけて運んでください。

① タンクユニット上の角部



② タンクユニット下の脚部



お願い

- タンクユニットの運搬は落下防止のため、すべり止め付きの手袋を着用ください。
- 工事作業中は必ず手袋を使用してください。金属端面によるけがや、高温部接続によるやけどなどを防止します。ただし、ドリル作業では軍手を使用しないでください。ドリルに巻き込まれるおそれがあります。

# 2 設置工事

- 1 基礎・搬入
- 2 設置**
- 3 配管
- 4 配線
- 5 試運転
- 6 カバー

熱源機・タンク一体タイプ右仕様 現場打ち基礎設置の場合 (一体狭小設置タイプは工程が異なります。)

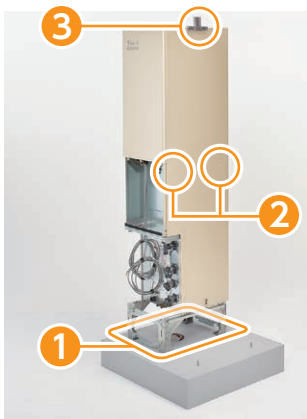
## 1 タンクユニット設置



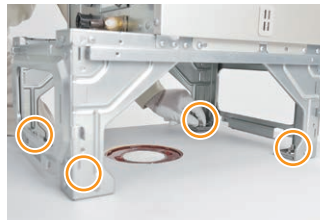
基礎への設置時には、タンクユニットのフロントカバー(化粧ネジ2本)をはずした状態で作業をしてください。



基礎の所定位置に設置します。

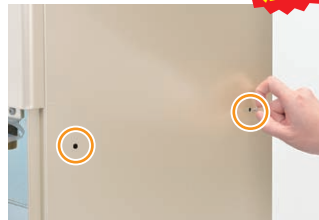


### ① 基礎部分



所定位置のアンカーボルトにワッシャー、ナットで仮固定します。

### ② タンクユニット側面



ガス熱源機が連結される側のタンクユニット中間部にある化粧クリップをはずします。

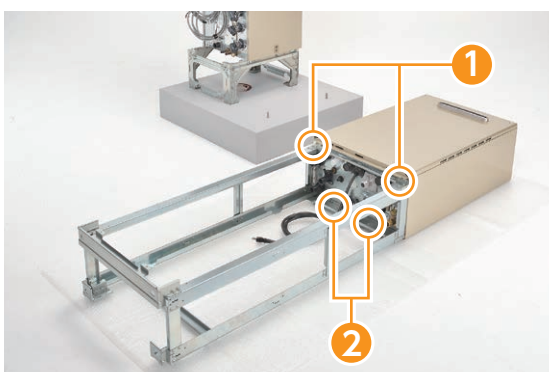
**はずし忘れにご注意ください!**

### ③ タンクユニット上部



連結据置台に付属の連結金具をタンクユニットの上面、ガス熱源機取付側に組付ネジ2本を再使用して固定します。

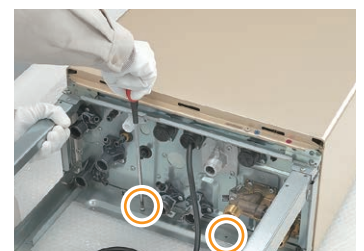
## 2 ガス熱源機設置



連結据置台とガス熱源機を養生のうえ、横にして組み付けます。



① M5トラス小ネジ2本で前方を固定します。



② M4トラス小ネジ2本で後方を固定します。



タンク右側の所定位置に設置します。

### 補足

ガス熱源機天面とタンクユニット天面が同じ高さで水平になるように調整します。水平が取れない場合は、レベル調整スペーサー(1,3,6mm厚 オプション品)を使用して水平を出してください。



# 2 設置工事

1 基礎・搬入

2 設置

3 配管

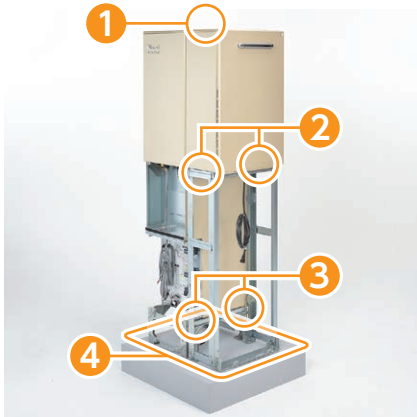
4 配線

5 試運転

6 カバー

熱源機・タンク一体タイプ右仕様 現場打ち基礎設置の場合 (一体狭小設置タイプは工程が異なります。)

## 3 タンクユニットとガス熱源機の連結



① ガス熱源機上部



タンクユニットに取り付けた連結金具の芯金を、ガス熱源機上部後方の連結プレートに差し込みます。

② 連結据置台上部



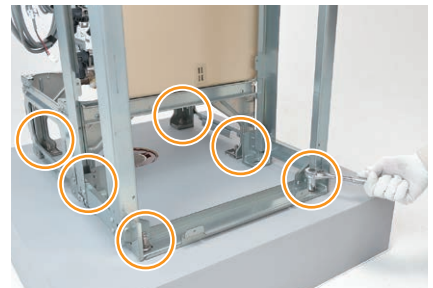
連結据置台をタンクユニット中間部の化粧クリップをはずしたネジ穴に、M4トラス小ネジ2本で固定します。

③ 連結据置台下部



連結据置台とタンクユニット下部をM4トラス小ネジ2本で固定します。

④ 基礎部分



連結据置台をアンカーボルトにワッシャー、ナットで固定します。仮固定していたタンクユニット側も本締めします。

## 4 ヒートポンプユニットの設置



ヒートポンプユニットをプラ設置台 (RHB-PR450 オプション品) に設置します。



ヒートポンプユニットの配管カバーの化粧ネジ1本をはずし、配管カバーを押し下げて取りはずします。

設置完了!



**注意**

ヒートポンプユニットは運転時に運転音や振動が発生します。隣家、寝室などを配慮した据付場所を選定してください。ヒートポンプユニットとタンクユニットは、金属強化ポリエチレン管10Aで25m\*まで離隔できます。

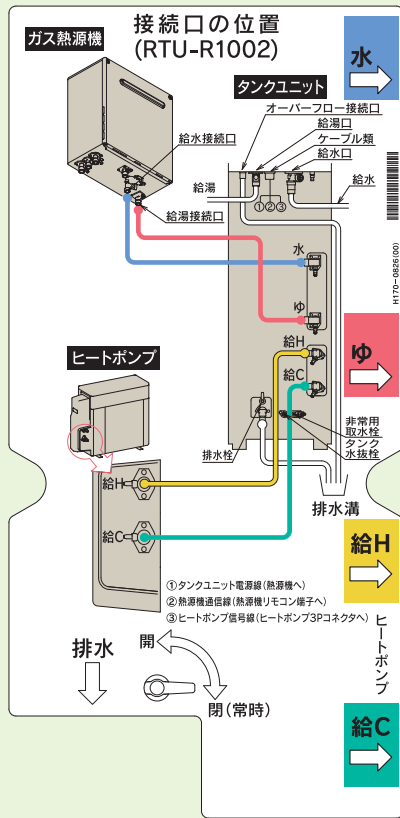
\*5m以上の配管長となる場合、断熱材の厚さは20mm以上としてください。

# 3 配管工事

- 1 基礎・搬入
- 2 設置
- 3 配管
- 4 配線
- 5 試運転
- 6 カバー

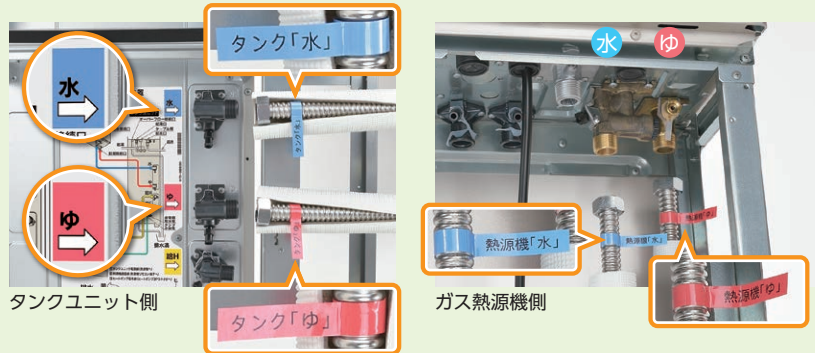
熱源機・タンク一体タイプ右仕様の場合 (一体狭小設置タイプは13、14ページをご覧ください。)

## 配管接続アシスト図

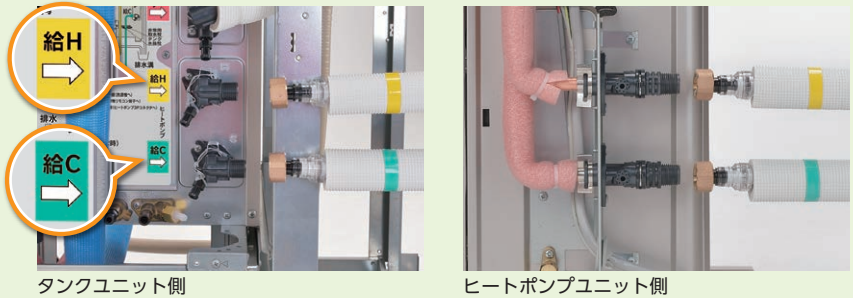


配管はすべてタンクユニット接続口横に貼付の「配管接続アシスト図」の色にあわせて行ってください。

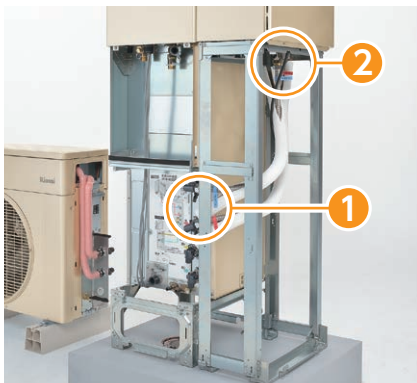
### タンクユニット ↔ ガス熱源機 (水・ゆ)



### タンクユニット ↔ ヒートポンプユニット (給H・給C)

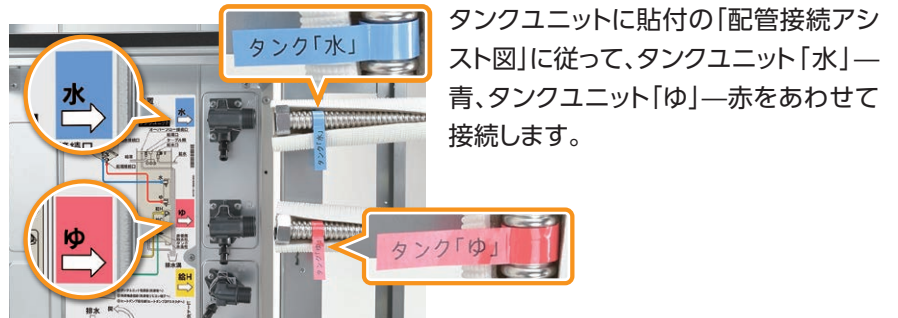


## 1 タンクユニット ↔ ガス熱源機 (水・ゆ)



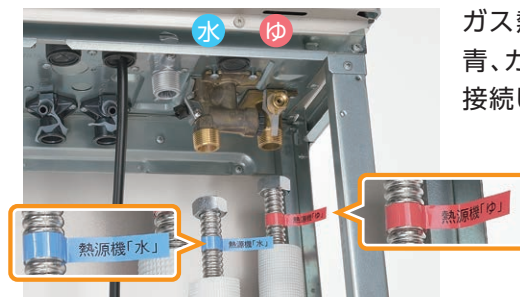
タンクユニットとガス熱源機の配管接続には、連結配管セット(給湯用)(RHO-EOS2-A オプション品)を使用して接続します。

### ① タンクユニット側



タンクユニットに貼付の「配管接続アシスト図」に従って、タンクユニット「水」—青、タンクユニット「ゆ」—赤をあわせて接続します。

### ② ガス熱源機側



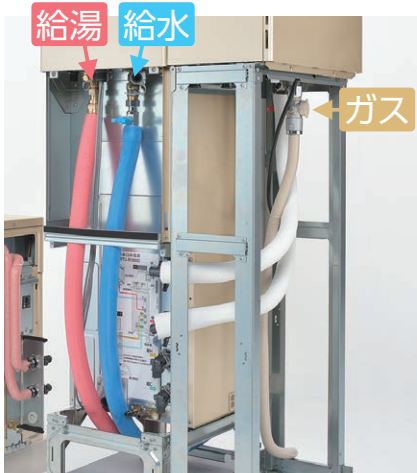
ガス熱源機側も、ガス熱源機「水」—青、ガス熱源機「ゆ」—赤をあわせて接続します。

# 3 配管工事

- 1 ▶ 2 ▶ **3** ▶ 4 ▶ 5 ▶ 6  
基礎・搬入 ▶ 設置 ▶ 配管 ▶ 配線 ▶ 試運転 ▶ カバー

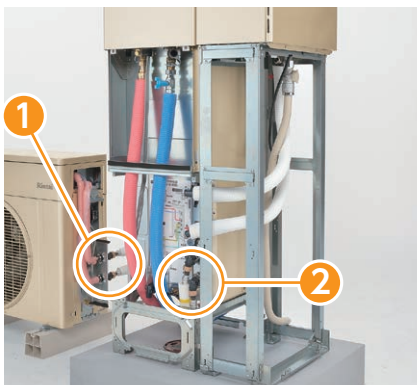
熱源機・タンク一体タイプ右仕様の場合 (一体狭小設置タイプは13、14ページをご覧ください。)

## 2 タンクユニットー給水・給湯／ガス熱源機ーガス



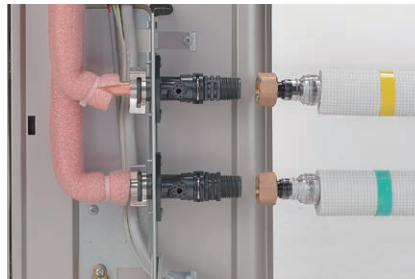
一次側の給水・給湯配管をタンクユニットの給水・給湯口に接続します。ガス配管はガス熱源機のガス接続口に接続します。

## 3 タンクユニット ↔ ヒートポンプユニット (給H・給C)

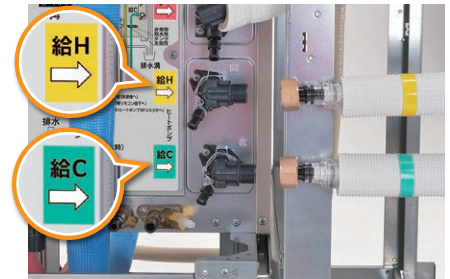


HP配管セット<3m> (RHO-HPS3-A オプション品) を使用して、タンクユニットに貼付の「配管接続アシスト図」に従い、配管セットに付属の継手を使用して接続します。

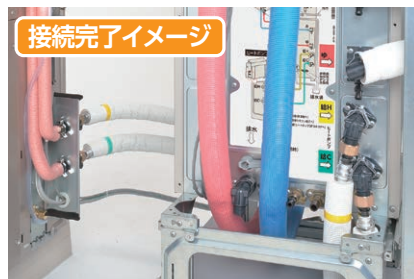
① ヒートポンプユニット側



② タンクユニット側



それぞれ「給H」—黄、「給C」—緑をあわせて接続します。



## HP配管 [金属強化ポリエチレン管(アルミ三層管)10A] 継手接続方法



5回転

HP配管面仕上器10A (ROP-HPMS オプション品) を使用し、時計廻りで5回転して配管の切断面の真円出しと面取りをします。



管先端が継手スケルトンボディの挿入標線を越え、突きあたるまで挿入すれば継手装着完了です。

写真はHP直循継手 (RHO-HPT-2P オプション品)

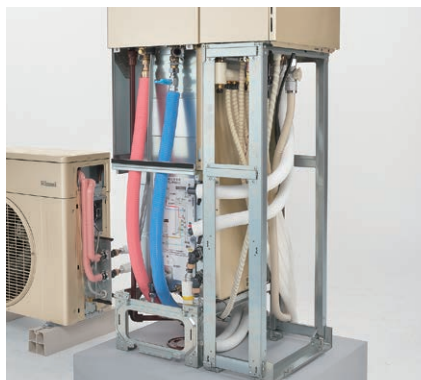


# 3 配管工事

- 1 基礎・搬入 ▶ 2 設置 ▶ **3 配管** ▶ 4 配線 ▶ 5 試運転 ▶ 6 カバー

熱源機・タンク一体タイプ右仕様の場合 (一体狭小設置タイプは13、14ページをご覧ください。)

## 4 ガス熱源機 ← おいだし・暖房



おいだし・暖房配管は通常の温水暖房配管の要領でガス熱源機に接続します。

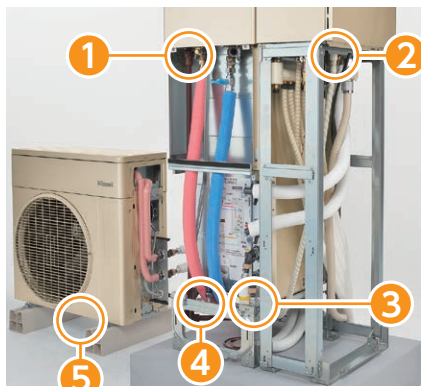
### Point

適正工具を使用して、配管に継手を挿入しましょう。

例：マルチスモーカーを使用している樹脂管7AへのCHジョイント7A挿入作業



## 5 ドレン排水配管

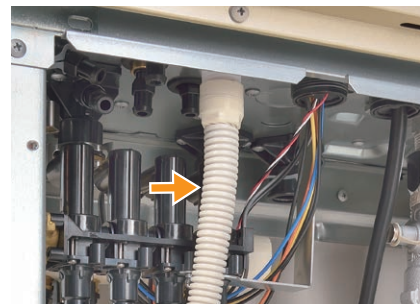


### 1 タンクユニット中間部



タンクユニットのオーバーフロー配管。

### 2 ガス熱源機側



エコジョーズのドレン配管。

### 3 タンクユニット下部



缶体保護弁用排水チューブ。

### 4 基礎排水口



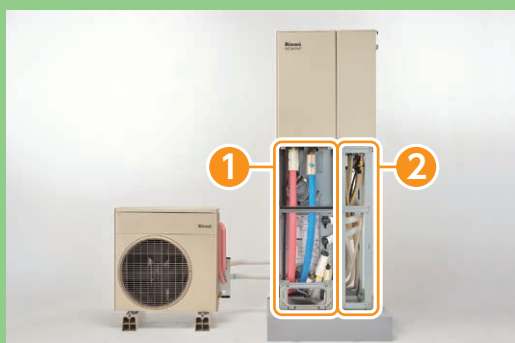
タンク排水栓の排水。

### 5 ヒートポンプユニット下部



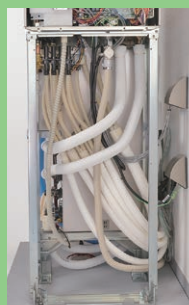
ヒートポンプユニットのドレン配管。  
(底フレームにドレンソケットを取り付け、ドレンホースを下り勾配で排水に導きます。)

配管完了!



### 1 タンクユニット側

### 2 ガス熱源機側



# 4 電源・配線工事

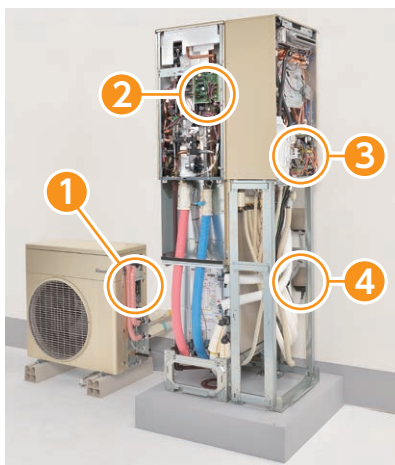
- 1 基礎・搬入 ▶ 2 設置 ▶ 3 配管 ▶ **4 配線** ▶ 5 試運転 ▶ 6 カバー

## 通信線の接続について



- **タンクユニット電源線** (ガス熱源機に同梱) は、ガス熱源機電装ユニット ↔ タンクユニット電装ユニット共にコネクタ接続してください。
- **熱源機通信線** (ガス熱源機に同梱) は、ガス熱源機のリモコン端子 ↔ タンクユニット電装ユニットにコネクタ接続してください。
- **ヒートポンプ信号線** (タンクユニットに同梱) は、タンクユニット電装ユニット ↔ ヒートポンプユニット共にコネクタ接続してください。

## 1 結線工事



### ① ヒートポンプユニットの結線



端子台カバーをはずします。

### ● ヒートポンプユニットの電源接続



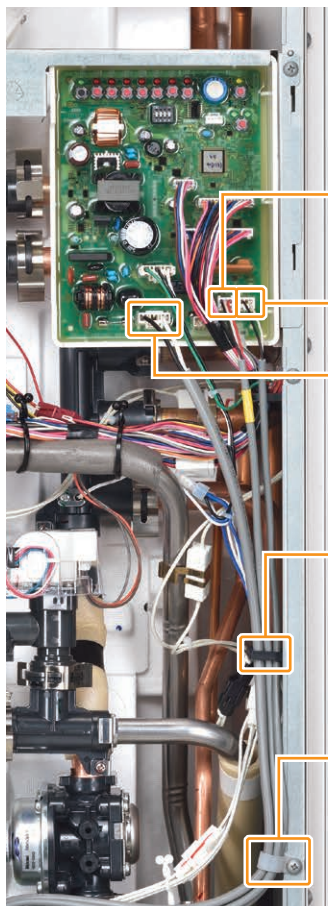
ヒートポンプユニットの電源線は、**単相100V、20Aの専用回路**とし、**2.0mmVVFケーブル**で配線し端子台に接続します。

### ● ヒートポンプユニット信号線の接続



タンクユニットに同梱の「ヒートポンプ信号線」は端子台の左にある**3Pコネクタ**に接続します。

### ② タンクユニットの結線



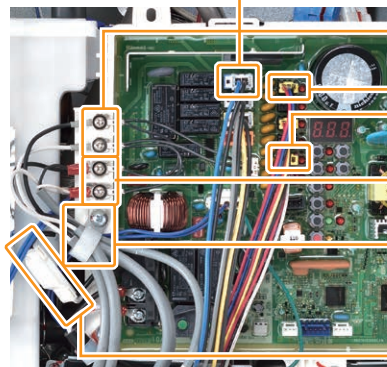
タンクユニットの前板上をはずし電装ユニットのコネクタに確実に差し込んでください。

- ヒートポンプ信号線**  
黄色ラベル側のコネクタを接続。
- 熱源機通信線**
- タンクユニット電源線**

ワイヤーサドル(下側)を通します。

ケーブルクランプで固定します。

### ③ ガス熱源機の結線



RHBH-RJ245AW2-1の場合

- 熱動弁コネクタ
- 台所・浴室リモコン
- 床暖房リモコン
- 浴室暖房乾燥機
- インテリジェント通信線
- 熱源機通信線**  
リモコン端子台に接続します。ケーブルクランプで固定します。
- タンクユニット電源線**  
電源線コネクタに差し込みます。

### ④ ガス熱源機のAC100V電源コンセント



アース線の接続も行います。



リモコン線は適正工具を使用し、圧着して結線してください。  
※裸端子、絶縁被ふく端子、閉端接続子はそれぞれ専用の圧着工具があります。

## MBC-301VCの台所リモコンで操作する場合

※MBC-201VC(A)リモコンは一部操作が異なります。また、それ以外のリモコンの場合は、タンクユニットおよびガス熱源機の電装ユニットからの試運転となります。くわしくは11ページ下部をご覧ください。

### 1 給湯自動試運転を行う

給湯  
試運転

※浴槽の排水栓は抜いておいてください。(循環金具からタンクのエア混合水が排出されます。)

※給水元栓は必ず「給湯自動試運転」開始後に開けてください。開始前に開けた場合、本体に負荷がかかり大きな音がします。

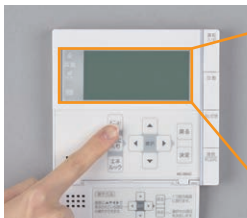
- ① ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器のレバーを「ON」にし、ガス熱源機の電源を入れます。

※(E)シリーズ、MBC-301VCリモコンで停電検知ユニットが付いていない場合、電源投入後「スタンバイモード」とリモコンに5分間表示されます。  
・5分間無操作や運転スイッチ「入」で解除されます。



ヒートポンプユニット ガス熱源機

- ② 運転スイッチ「切」の状態です「メニュー」スイッチを押します。



Hybrid	ハイブリッド設定	機器の水はり・水抜き・試運転を行います。
Eco	Eco	
リモコン設定	リモコン設定	01 タンク自動水はり運転 02 手動水はりモード 03 水抜きモード 04 給湯自動試運転
メンテナンス	メンテナンス	
サポート	サポート	

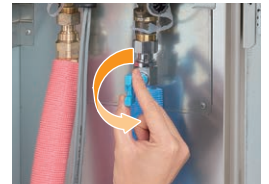
- ③ ▲▼スイッチで「メンテナンス」を選択し、決定スイッチを押します。

- ④ 「給湯自動試運転」を選択し、決定スイッチを押します。

Hybrid	給湯自動試運転をします。	
Eco	01 タンク自動水はり運転	次へ
リモコン設定	02 手動水はりモード	次へ
メンテナンス	03 水抜きモード	次へ
サポート	04 給湯自動試運転	次へ

- ⑤ 「する」を選択し、決定スイッチを押します。

- ⑥ リモコン画面に「給水元栓を開けてください。タンクユニットへ水はりをします。」と表示されたら、タンクユニットの給水栓を開けてください。



- ⑦ タンクユニットの「給H」水抜き栓を開け、1分以上水が連続して出てくることを確認したら、「給H」水抜き栓を閉めてください。



- ⑧ タンクが満水になるとリモコン画面に「ヒートポンプへ水はりをします。」と表示されます。

- ⑨ ヒートポンプユニットへの水はりが完了するとヒートポンプユニットが動き、リモコン画面に「配管の誤接続を確認中です。」と表示されます。

- ⑩ 給湯自動試運転が完了するとリモコン画面に「給湯自動試運転を完了しました。お湯を沸かすことができます。」と表示され、メロディと「完了しました」の音声が流れます。  
※エラーが出ると「ピーピーピー」と音が鳴ります。  
設置工事説明書にしたがって対処してください。

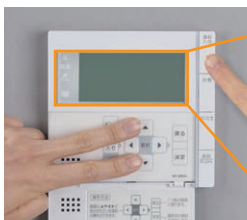
### 2 暖房自動試運転を行う

暖房  
試運転

※床暖房が接続されている場合、暖房自動試運転を行うには床温センサーが必要です。

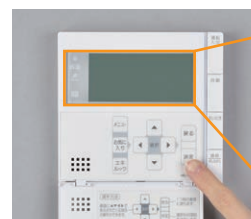
- ① ガス熱源機の暖房補給水栓を開けます。(出荷時は開いた状態)

- ② 運転スイッチ「切」の状態です▲スイッチを押しながら▼スイッチを長押ししたまま、運転スイッチを押して「メンテナンス」画面にします。



初期設定	リモコンの初期設定を変更します。
熱源機メンテ設定	
Hybridメンテ設定	01 浴室暖房 02 暖房選択 03 床暖房設定 :
熱源機種種設定	
暖房自動試運転	

- ③ 「暖房自動試運転」を選択後、決定スイッチを押し、「する」を選択して決定スイッチを押すと、暖房自動試運転を開始します。



初期設定	暖房自動試運転を開始します。
熱源機メンテ設定	
Hybridメンテ設定	
熱源機種種設定	
暖房自動試運転	

- ④ 暖房自動試運転が完了すると、「暖房自動試運転完了」と表示されます。


- ⑤ 暖房自動試運転が完了すると、試運転が完了した端末数を表示します。

暖房自動試運転完了	10	端末
試運転を中止したり、接続した端末の数と端末完了の表示数が合わない場合は、基板の接続状態が正しいことを確認してから、再度暖房自動試運転を行ってください。		
[決定]:確認		

## 3

## ふろ自動試運転を行う (給湯暖房用熱源機の場合)

ふろ  
試運転

- 浴槽に残り湯がない状態で、浴槽の排水栓が閉まっていることを確認してください。
- 運転スイッチ「切」の状態  

 状態で自動スイッチを1秒以上長押ししたまま、運転スイッチを「入」にします。

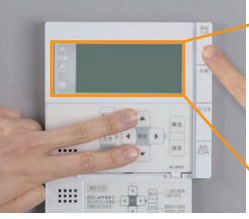
- 浴室リモコンに表示されている設定水位、設定温度で試運転が行われ、試運転中はリモコンの自動ランプが点滅します。



- ふろ自動試運転が完了すると、自動ランプが消灯します。

## 4

## 試運転結果の確認

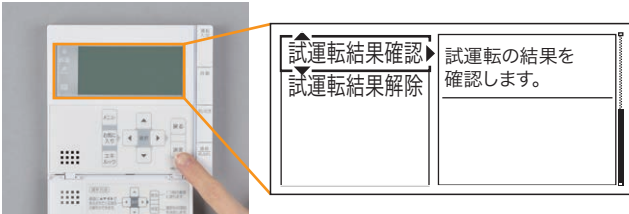
- 運転スイッチ「切」の状態  

 で▲スイッチを押しながら▼スイッチを長押ししたまま、運転スイッチを押して「メンテナンス」画面に移行します。

初期設定	リモコンの初期設定を変更します。
熱源機メンテ設定	
Hybridメンテ設定	01 浴室暖房
熱源機種設定	02 暖房選択
暖房自動試運転	03 床暖房設定
	：

- 給湯・暖房・ふろ自動試運転の結果が表示されます。  
(暖房自動試運転が完了した端末数も表示します。)

試運転結果	
01 給湯試運転 (給湯配管誤接続自動確認)	完了
02 暖房自動試運転	(5端末)完了
03 ふろ試運転	完了

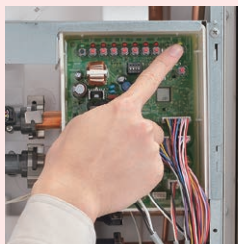
- 「試運転結果確認」を選択し、決定スイッチを押します。



## ■タンクユニットの電装ユニットから操作する場合

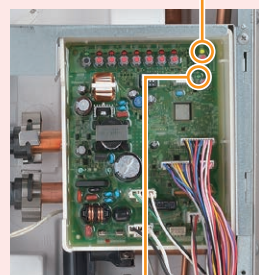
※浴槽の排水栓は抜いておいてください。(循環金具からタンクのエア混合水が排出されます。)

- ガス熱源機、ヒートポンプユニットの電源を入れます。
- タンクユニットの前板上をはずします。
- タンクユニットの電装ユニットにある給湯自動試運転スイッチを押します。給湯自動試運転ランプ(LED9黄)が点灯します。



- 給湯自動試運転が完了すると電装ユニットの給湯自動試運転ランプ(LED9黄)が消灯し、給湯試運転結果確認ランプ(LED10緑)が点灯します。

給湯自動試運転ランプ 黄



給湯試運転結果確認ランプ 緑

- 給水元栓を開きます。
- タンクユニットの「給H」水抜き栓を開け、1分以上水が連続して出てくることを確認したら、「給H」水抜き栓を閉めてください。

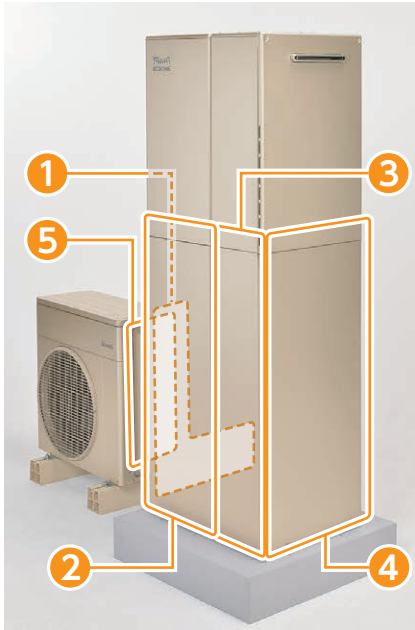
- 暖房自動試運転、ふろ自動試運転は、ガス熱源機電装ユニットの自動試運転スイッチ、ふろ試運転スイッチを操作して行ってください。

# 6 カバー取り付け

1 基礎・搬入 ▶ 2 設置 ▶ 3 配管 ▶ 4 配線 ▶ 5 試運転 ▶

6  
カバー

## 熱源機・タンク一体タイプ右仕様の場合



### ① タンクユニット側面



タンク配管カバー左 (RHO-15TUC100-L オプション品) を奥脚部ツメにかけ、タンクユニット正面よりM4トラス小ネジ3本で固定します。

**注意** 右仕様の場合はタンク配管カバー左 (RHO-15TUC100-L)、左仕様の場合はタンク配管カバー右 (RHO-15TUC100-R) を取り付けてください。

### ② タンクユニット正面



前板下を化粧ネジ2本で固定します。

### ③ 連結据置台側面



側面カバーをM4トラス小ネジ4本で固定します。

※側面カバーは片側のみ

### ④ 連結据置台正面



フロントカバーはガス熱源機の前板下部にある3つの穴にフロントカバー上部のツメを差し込み、下部穴2カ所に化粧ネジで固定します。

### ⑤ ヒートポンプユニット



ヒートポンプユニットの配管カバーを下から上へスライドさせて取り付け、化粧ネジ1本で固定します。

完成!

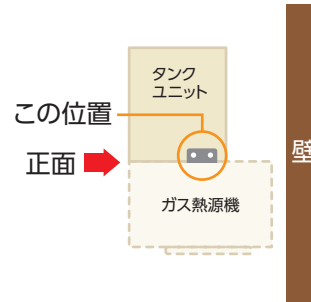


# 一体狭小設置タイプ右仕様 現場打ち基礎設置の場合

## 連結金具 (ガス熱源機右仕様の場合)

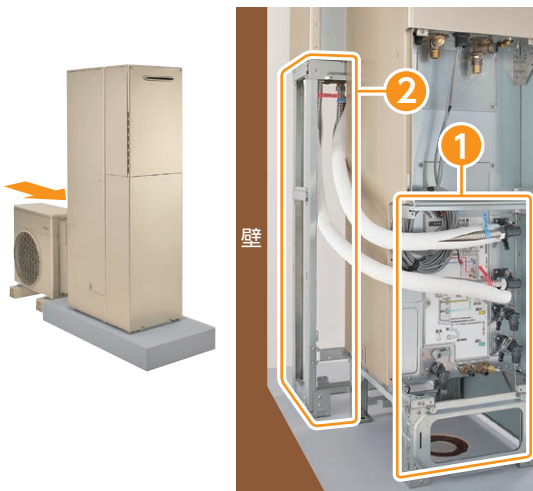


タンクユニット上面後方左側に連結金具タンクユニットのネジ2本で固定します。



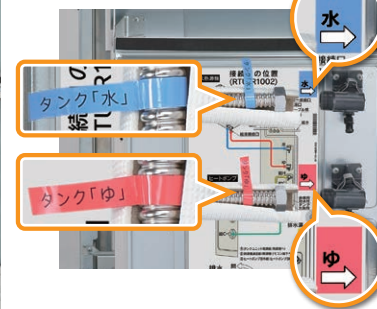
## 配管工事

### 1 タンクユニットとガス熱源機の配管接続



タンクユニットとガス熱源機の連結配管は、狭小設置連結配管セット〈給湯用〉(RHO-EOS2-B オプション品)を使用して接続します。

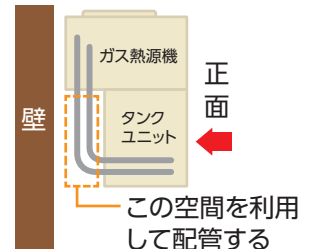
#### ① タンクユニット側



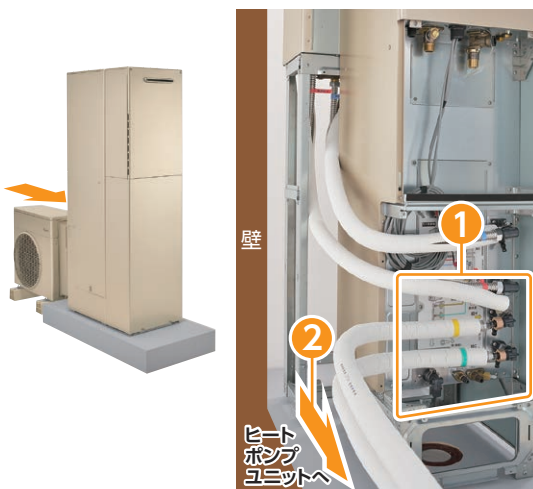
#### ② ガス熱源機側



タンクユニット「水」—青とガス熱源機「水」—青をタンクユニット接続口横に貼付の「配管接続アシスト図」に従って接続します。  
タンクユニット「ゆ」—赤とガス熱源機「ゆ」—赤も同様に接続します。

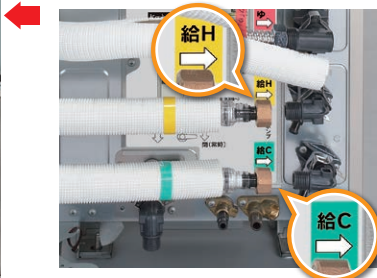


### 2 タンクユニットとヒートポンプユニットの配管接続

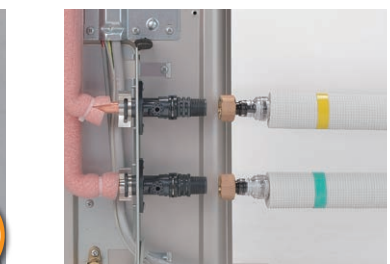


タンクユニットとヒートポンプユニットの配管は、HP配管セット〈3m〉(RHO-HPS3-A オプション品)を使用して接続します。

#### ① タンクユニット側

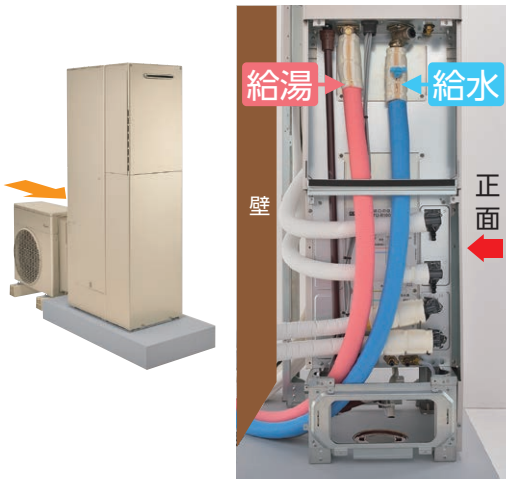


#### ② ヒートポンプユニット側



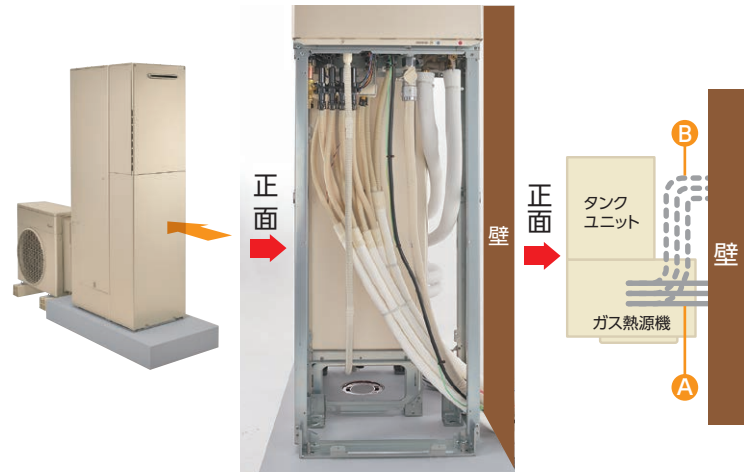
タンクユニット「給H」—黄と、ヒートポンプユニット「給H」—黄をタンクユニットに貼付の「配管接続アシスト図」に従って接続します。  
タンクユニット「給C」—緑と、ヒートポンプユニット「給C」—緑も同様に接続します。

### 3 一次給水、給湯の配管接続



一次側給水、給湯の配管はタンクユニットの給水、給湯口(20A(R3/4))に接続してください。

### 4 ガス熱源機のガス・おいだき・暖房配管の接続

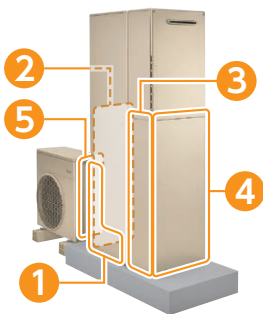


ガス・おいだき・暖房配管はA壁側の連結据置台の開口、またはB壁とタンクユニットの間の配管スペースを利用して配管し、ガス熱源機の接続口に接続してください。

### 5 試運転調整

試運転方法は、10、11ページをご覧ください。

## カバー取り付け(2345は12ページをご参照ください)

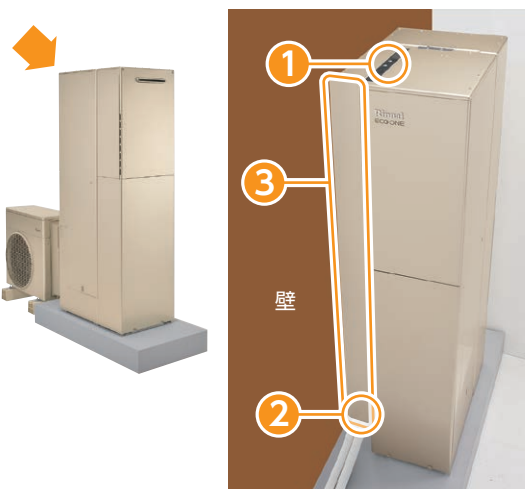


① タンクユニット側面にタンク配管カバー右(RHO-15TUC100-R オプション品)を取り付けます。

**注意** 右仕様の場合はタンク配管カバー右(RHO-15TUC100-R)、左仕様の場合はタンク配管カバー左(RHO-15TUC100-L)を取り付けてください。

② タンクユニット正面 ③ 連結据置台側面 ④ 連結据置台正面  
⑤ ヒートポンプユニット

## 狭小設置カバー(RHO-15SC100 オプション品)の取り付け



① タンクユニット上部



狭小設置カバー固定板上を(タンク上のビス2本をはずして)取り付けます。

② タンクユニット下部



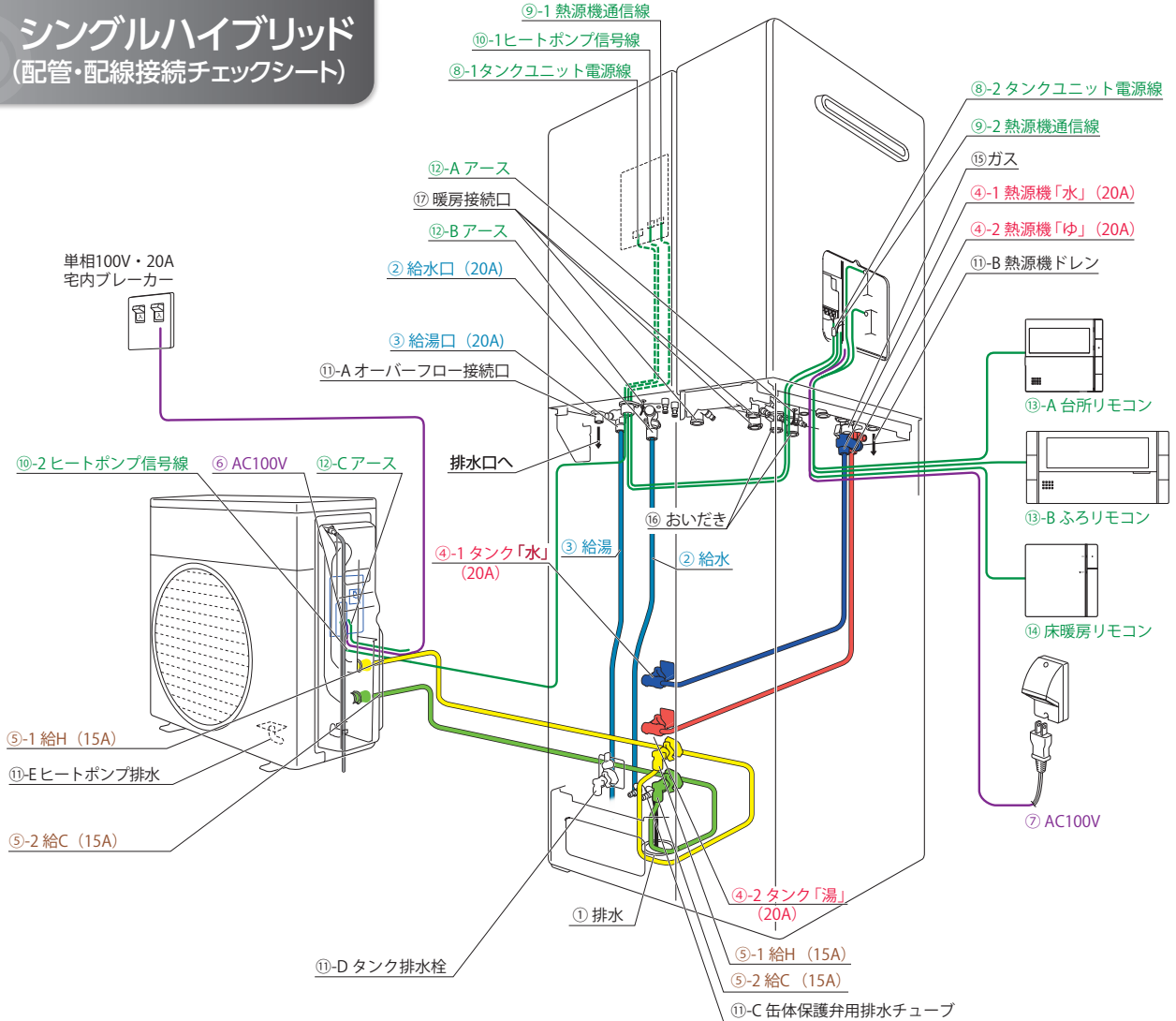
狭小設置カバー固定板下をM4トラス小ネジ1本で固定します。

③ タンクユニット側面



狭小設置カバー固定板上にある2つの穴にカバーのツメを差し込み、固定板下にM4トラス小ネジ(樹脂座金付)1本で固定します。

# シングルハイブリッド (配管・配線接続チェックシート)



## チェック項目

①	排水は配管されていますか	<input type="checkbox"/>
②	給水はタンクユニットの給水口に接続されていますか	<input type="checkbox"/>
③	給湯はタンクユニットの給湯口に接続されていますか	<input type="checkbox"/>
④	連絡配管(水・ゆ)は正しく接続されていますか ④-1, ④-2	<input type="checkbox"/>
⑤	ヒートポンプ配管(給H・給C)は正しく接続されていますか ⑤-1, ⑤-2	<input type="checkbox"/>
⑥	ヒートポンプユニットは専用回路で100V電源が接続されていますか	<input type="checkbox"/>
⑦	熱源機電源(100V)は接続されていますか	<input type="checkbox"/>

⑧	タンクユニット電源線は正しく接続されていますか ⑧-1, ⑧-2	<input type="checkbox"/>
⑨	熱源機通信線は正しく接続されていますか ⑨-1, ⑨-2	<input type="checkbox"/>
⑩	ヒートポンプ信号線は正しく接続されていますか ⑩-1, ⑩-2	<input type="checkbox"/>
⑪	A オーバーフロー接続口	<input type="checkbox"/>
	B 熱源機ドレン	<input type="checkbox"/>
	C 缶体保護弁用排水チューブ	<input type="checkbox"/>
	D タンク排水栓	<input type="checkbox"/>
	E ヒートポンプ排水	<input type="checkbox"/>

⑫	アース処理されていますか	A 熱源機	<input type="checkbox"/>
		B タンクユニット	<input type="checkbox"/>
		C ヒートポンプユニット	<input type="checkbox"/>
⑬	リモコンは正しく結線されていますか	A 台所リモコン	<input type="checkbox"/>
		B ふろリモコン	<input type="checkbox"/>
⑭	床暖房リモコンは正しく結線されていますか	<input type="checkbox"/>	
⑮	ガスは接続されていますか	<input type="checkbox"/>	
⑯	おいだし配管は接続されていますか	<input type="checkbox"/>	
⑰	暖房配管は正しく接続されていますか	<input type="checkbox"/>	
⑱	保温は確実に処理されていますか	<input type="checkbox"/>	

**リンナイ株式会社** 本社 〒454-0802 名古屋市中川区福住町2の26  
ホームページアドレス <http://www.rinnai.co.jp>

**ウィズガス**

■商品についてのお問い合わせは最寄りの事業所へ

- 関東支社 ☎03(3471)9047 東北支社 ☎022(288)3251 中国支店 ☎082(277)5167
- 東京支店 ☎03(3471)9047 北海道支店 ☎011(530)5555 四国支店 ☎087(821)8055
- 北関東支店 ☎048(770)6001 新潟支店 ☎025(247)6610 九州支社 ☎092(281)3234
- 東関東支店 ☎043(273)3360 中部支社 ☎052(363)8001
- 南関東支店 ☎045(320)3051 関西支社 ☎06(6786)3612 アルジー株式会社 ☎03(5783)3455

■修理についてのお問い合わせは、**0120-054-321**  
リンナイお客様センターへ  
●修理の受付時間: 365日24時間  
●修理の相談時間: 平日9:00~19:00 土日・祝日9:00~17:00

携帯電話でのご利用はこちらまで **0570-550-258**  
※PHS及びIP電話からご利用いただけませんので、一般電話/携帯電話からお願います。

■保守点検・所有者登録についてのお問い合わせは、リンナイ製品点検センターへ **0120-493-110**  
●受付時間: 平日9:00~17:30 (土日・祝日および当社指定休日を除く)

間違い電話が多くなっておりま。お電話をいただく際には、番号を必ずお確かめの上、くれぐれもお間違いのないようにお願いします。

●お求めは信用とゆきとどいたサービスの店

このカタログの掲載内容は、2016年4月現在のものです。

- 本カタログに掲載しております全商品の価格は、希望小売価格です。配送費、据付部材、据付工事費、使用済み商品の引取り費等は含まれておりません。
- 本カタログはすべての商品、部材が掲載されたものではありません。
- 印刷物のため、実際の商品と異なることがありますのでご了承ください。
- 商品の価格及びデザイン、仕様は改善のため、予告なく変更する場合があります。
- 本カタログ掲載の商品写真は、警告・注意シール表示を省略しているものがあります。